

# 人妻三人の温泉め ぐり 旅館内で出 会った青年と

今年も夏前。涼しさはありますが暑くいっそう暑くなると報じられている夏に向けてセックスの準備万端となつてゐる現在です。

夫は現在死別して家にはいません。

リビングでハダカ・・・・あるいは真っ白下着とブラ一枚で過ごす私は夏に向けてとても開放的。

そして汗を流すのは老舗で昔からある近くの銭湯のシャワー。

水シャワーに関しては季節に関係なく心地いいですが、今は気温も高くなっているため水の冷たさがいっそう豊満な胸などを流し心地よい最近です。

銭湯でハダカになることは私にとって水分補給をするように当たり前のこと・・・・・・。

私は未亡人ですが、人妻トモダチと行く  
ことが多い銭湯。

真っ白下着お尻プリプリで過ごすリビングと同様に混浴銭湯内でも開放的です。

いつも一緒に行く友達と、今度は少し街からは離れた温泉巡りに行こうという話になりました。

下着姿でリビング。次のお出かけまで胸が弾みます。

衣服を脱ぐと・・・毎晩セフレたちとベッドルームで結合し合っているハダカが露わになり心地よい気分になる。

気分はどんどん高まりスマホで色々な

旅館をママ友と LINE 交換しながら調べてみました・・・。

ソファに座り足を組みます。

ハダカ下着姿。温かい紅茶で一服しながら・・・。

足を崩すと・・・・・横の薄ピンクのカ  
ーペット床には脱ぎ捨てたホットパン  
ツが一枚。

私の真っ白の下着姿がひときわ目立ち  
ます。

スマホの画面を確認。トモダチからおす

すめの旅館の提案。とても開放的な気分。

私はホット紅茶をもう一度口へ運  
び・・・・。

「・・・・こんな旅館はどうかな？」

LINE の返信をしてからソファの上、もう一度足を組み変えます。

毎晩、シャワールームでカラダを大切にしているので・・・太ももはとても卑猥で淫靡（いんび）。

先日も列車で30分、市街地まで新しい下着を買いに行ったばかり。色はもちろ

ん基本白・・・・・・・。

「みんなハダカで入浴出来そうですが  
く楽しみね」

旅館の一日に向けて私たち女子の気分  
は高まっていきます。

流れというか・・・・・。

猛スピードで進んでいきそうでした。

今回のメンバーは学生時代からの友人のユナミさんも合わせて三人。もう一人はすぐ近くの家の奥さん・・・。

そして場所が決まった日の夜・・・。

風呂上がりのこの日は少しブカブカのグレーのスウェットのお尻辺りを触りながら、マンションの廊下に出て夜の星を眺めました。

誰もいない静かな夜・・・。

太ももはこの日もムッチムチで密着したジーンズ・・・・・・。

• • • • • • • • • • • • • • • ○

・・・・・　当日、道中で打ち合わせの食事なども挟みつつ旅館へ到着。

ホテル一階の休憩ルームからは近くの街並みが見渡せます。

ガラス戸の外には雨がチラついていました。

椅子に座る私たち。この日は女子三人での旅行。ハダカで弾けられる温泉が頭に浮かんできます。

風呂の椅子（いす）に寝そべり、自由気  
ままに羽を伸ばす。

次は露天へ行ってみましょ！！！

楽しそうに女子三人でハダカのまま露  
天の外へ行く姿が頭に浮かびます。

・・・・・・・・・・・・・・・○

受付を済ましたその後・・・夕方旅館  
近くの街角を散歩していました。

スマホを持ってたまに画面を見ながら。

コンクリート地の道路。歪な大きさの違う石模様。

お尻を触り少し気にしながら・・・周りには土産物屋などが軒を並べています。

浴衣を着ていました。旅館へ来る前に近くの店で購入したもの。

ハダシで下駄を穿いて・・・。由緒ある絹の織物の工場で有名な田舎街です。浴衣も製造しているらしく看板もたくさんありました。

浴衣は白地に濃紺の水玉。浴衣の下には真っ白の下着がしまわれています。

「三人ではやくスッポンポンになりたいわね！！」

私たちは笑顔で頬を赤らめました。

まつ毛は濃く・・・・下着は真っ白。

早く温泉でハダカになりたい！

・・・・・・・・・・・◦

この日の私たち三人は・・・・先日も最近見つけた巨根の青年たちとラブホテルへ宿泊し、ハダシのセックスを朝までした仲です。

(体験版は以上になります。ご読了あり  
がとうございました)